

都市経営

地方中枢拠点都市として

→以前から高い関心を寄せていた人口減少問題。少子・高齢化社会対策として扱われていたこの問題は、いつしか限界集落という言葉を生み、増田レポートによって「消滅可能性都市」という強烈な印象を持つ言葉に発展。市町村名も公開されたこと

で、全国ネットで再び注目されています。総選挙でも話題にされた地方創生、これからの国の動向に気を配りながら、人口減少社会でも「地方中枢拠点都市」の資格がある岐阜市には、再びチャンスが到来する可能性があります。まち全体の方向とし



て、交通や医療、防災等、周辺市町との交流・連携を強化する必要があります。私は、人口減少時代を生きる責任世代として、引き続き議会を通じて問題を提示・検証し、解決策を提起していきます。

地域づくり

地域予算制度と都市内分権 (H26.11月議会質問)

→防災の3原則は自助・互助(共助)・公助ですが、互助=自治会を単位とする地域組織の充実が叫ばれるいま、**地域で出来ることは地域で決める仕組み**が必要です。折しも時代は人口減少社会へ突入。児童数減少により、野球チームが組めない小学校も増えている中、

小学校統廃合が進められています。これに伴う校区再編等、時代の転換期に仕組み(制度)も転換しなくてはいけないことは言うまでもありませんが、意識改革ほど難しいものもありません。しかし思い切って発想を変え、**中学校単位に「まちづくり協議会」**を組織し、こ

れを受け皿に、**使途限定なき自由な交付金を交付「地域予算制度」**し、骨太な地域を構築しなくてはなりません。情報社会の進展で住民ニーズも多様化しています。**多様な選択肢のある地域づくり・都市内分権を推進する具体策**として、政策提起しています。



ぼくはこのまちが好きだ。だから声を聴き、足を運び、きちんと研究調査して、チャンスを見出し、政策提案・実現の調整に徹します。

責任世代 岐阜市議会議員

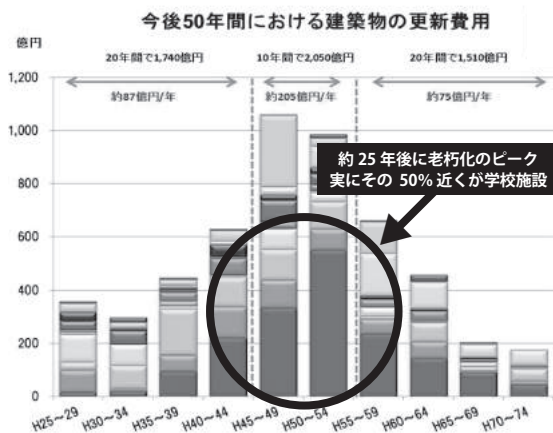
和田直也

検索

県岐商 国際コミュニケーション科 卒業
立命館大院修了(法学修士)
26才初当選、現在2期目。

公共施設老朽化・適正管理と再配置 (H26.3,6,9月議会質問)

→ハコモノと聞くと大きなホールをイメージされる方が多いと思いますが、実は半数近くが学校施設。あと25年後には老朽化のピークを迎えるため、病院や公民館、ごみ処理場、市道、上下水道管など、**市有財産の適正管理を司る庁内部局「仮称・資産経営課」**の創設を提案しています。限られてくる予算の中で、本当に必要な施設の統廃合や再配置を促していきます。



市庁舎の移転賛成と設計は別。高層化しないための政策調整へ

→先の市議会で市役所本庁舎の位置を定める条例案が2/3の賛同を以て可決されました。しかし、**建て方は別**。新市庁舎は高層化が検討されていますが、私は疑問を持っています。岐阜らしい景観の維持、都市内分権のあり方などをきちんと議論し、この点を十分汲んで頂くよう、政策調整に徹します。



2期目の公約、1つ達成☆ 議員の議決賛否一覧表、公開へ

→私たちが選んだ議員は、どの議案や予算案に賛成・反対しているのか、全く伝わっていないこともまた不信の原因。これを改めるため、各会派の提案賛同もあり、ようやく**岐阜市議会 HP 上で賛否一覧表を公開**へ！2期目の公約が1つ達成！議員の説明責任を明確に、質の高い議会づくりへ、一步一步。

議員氏名	提案①	提案②	提案③	提案④	提案⑤
	可決	可決	否決	否決	可決
●●●●	○	○	×	○	○
●●●●	○	○	×	×	○
●●●●	○	○	×	×	○
●●●●	○	○	○	×	○

手作り議会だより 平成27年 新春号



NAOYA WADA +4



〒500-8879 岐阜市徹明通 6-1 善福寺ビル 1F TEL+FAX: 058-251-2638 E-mail: office@wada-naoya.jp